

## 第1回 「ASEAN スマートコールドチェーン構想」検討会 議事概要

### 1. 日時

平成30年7月3日（火）15:00～17:00

### 2. 場所

株式会社富士通総研 11階 セミナールーム

### 3. 議事概要

1. 事務局より、ASEANにおけるコールドチェーン物流の必要性、「ASEAN スマートコールドチェーン構想」検討会設置の趣旨、検討会の進め方について説明を行った。
2. 次に、国土交通省、農林水産省、JETROよりASEANのコールドチェーン物流促進に関する取組についてそれぞれ説明を行った。
3. 委員からは以下のような質問及び発言があった。

#### 事務局による「ASEAN スマートコールドチェーン構想」検討会の進め方

- 【質問】本検討会で議論の対象とする貨物は、肉・魚・野菜等が主な対象となっているが、加工食品は対象となるのか。
- 【回答】生鮮食品だけでなく加工食品も対象となる。
- 【質問】今回の検討会において対象とするのは、日本からの国際物流あるいはASEAN域内物流のどちらを対象としているか。
- 【回答】ASEAN域内物流が対象である。

#### 国土交通省によるASEANのコールドチェーン物流促進に関する取組み

- 【質問】日ASEANコールドチェーン物流ガイドラインの展開について、今後はASEANのみならず、インドのような他国への展開は検討されているか。
- 【回答】現段階では、ASEAN域内の展開としている。ただし、ASEAN各国において、効果的に展開できるようであれば、将来的には他国への展開も検討したい。
- 【質問】日ASEANコールドチェーン物流ガイドラインについて、ASEAN各国への強制力と今後の日ASEAN交通大臣会合の承認スケジュールについて教えていただきたい。
- 【回答】あくまでガイドラインであるため、強制力はないが、ASEAN各国においては本ガイドラインを参考にして、各国のコールドチェーン物流の規

格化などに盛り込んでもらえればと考えており、また、そのような国があれば国土交通省として、当該国の制度設計を手伝っていきたいと考えている。また、大臣会合の承認スキームについては、今年11月にタイで開催される日ASEAN交通大臣会合で承認予定としている。

#### **農林水産省によるASEANのコールドチェーン物流促進に関する取組み**

【質問】ASEANの中で、コールドチェーン物流の整備を求めていると強く感じる国はどこか。

【回答】どことは言えないが、例えば、ベトナムやカンボジアなどにイオンが出店しているが、地域住民の近代マーケットに対する品質や安全性などへの期待感を感じる。一方、フィリピンのように肉と米が主体の食生活の国においては、コールドチェーン物流の普及は進んでいるとは言い難いが、食育等の啓蒙活動を通じて野菜など鮮度を必要とする農産物等の消費を伸ばすことが出来れば、コールドチェーン物流の需要の拡大につながると考える。また、今後は、品質にこだわりを持っている高所得層向けに鮮度保持が必要な農産物等の消費を拡大していくアプローチを検討することも必要ではと考えている。

【質問】ベトナムにおける輸送について、課題認識している事象があると発言があったが、具体的内容について教えて頂きたい。

【回答】ホーチミンにおいては、ある一定サイズ以上のトラックが入ることが制限されている。例えば、対策として、物流事業によっては、バイク便での分配輸送などの検討が考えられるが、当該規制の緩和や交通渋滞の緩和を見据えた迂回道路の建設といった提案を二国間政策対話で相手国にフードバリューチェーン構築の課題として伝えることは可能である。

【質問】先ほどのグローバルフードバリューチェーン(GFVC)戦略の取組の説明では、相手国の農家の所得向上を目指しているとの話であったが、所得向上には、生産物の付加価値を向上させることが重要と考えているが、その辺りはどのように考えているのか。

【回答】GFVC戦略は、我が国の農林水産業や食品産業の発展だけでなく、対象国への経済協力の側面もある。FVC構築の取組を進める中で、日系企業の海外展開や輸出促進にも貢献するとともに、対象国で高品質な農産品が生産可能となるよう日本として支援し、構築したFVCを活用し、生産した高品質な農産物の輸出も可能となるなどのWIN・WINとなることを目指している。

但し、現状は、例えば、ミャンマーやカンボジアでは、肥料や農薬の使

用方法がわからないなど、農業の基礎技術の普及が十分でなく、有機農産物は比較的高い価格で取り扱われることから、農業技術が十分でないまま有機農法を取り入れているケースもあると聞いており、FVC についても、ASEAN においては、まだまだ、生産部分の支援が必要不可欠といった状況である。

#### **JETRO による ASEAN のコールドチェーン物流促進に関する取組み**

【意見】 物流産業において労働力不足が課題視されており、物流倉庫の自動化や業務省略化の導入は、今後、避けては通れない。しかしながら、現状は、自動システムについて世間に認知されない。そこで、御機構のお力をお借りし、物流機器の商談会や展示会等を検討して頂きたい。

【回答】 ASEAN の主要国において、労働力不足が課題視されていることは認識している。自動化システムや機器などの商談会は既実績としてあるが、コールドチェーンに限定した形での自動化システムの商談会や展示会は、過去に実施した実績がないものと認識している。今後、必要性を部内検討したい。

以 上  
(文責 事務局)